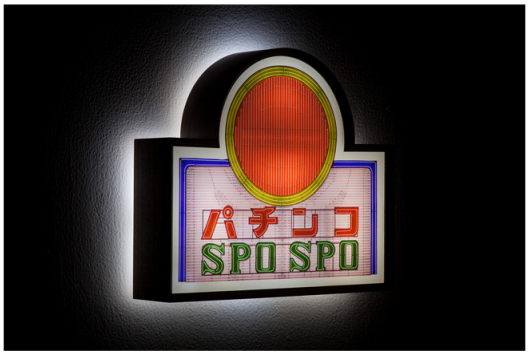

ネオンサイン

藤倉翼 写真展

5/3 Tue – 5/15 Sun
11:00 – 20:00
closed on 5/9
last day – 18:00
opening reception 5/6 Fri 18:00-20:00

この度、tokyoarts gallery にて、藤倉翼写真展「ネオンサイン」を開催いたします。本展で、藤倉翼が被写体とするネオンの光は、懐かしいものとなって久しくなりました。繁華街の夜にぽつりぽつりと瞬くだけです。その光は非日常へ人々を誘う灯台のようでもあります。恐らく、ほとんどの人は格別意識することもなく、まじまじと近くで見たこともないでしょう。作家はそんな被写体と正面から向き合い、写真に残すことで、看板という役目から解き放ち、ネオンが直接向き合うものへと語りかけてくる作品となっています。

Artist`s statement

ネオンサインはその場所や地域を象徴する存在で
そこに集う人々や文化を統合したシンボルとして存在する。
印刷技術の進化とともに大型のアクリル電飾看板が隆盛を極め
ネオン管職人の減少とともに各地のネオンサインは
減少の一途を辿り、今や風前の灯火である。

この作品は、その消え行くネオンサインに正面から向かいあい
装飾を廃してストレートに撮影したものである。
ネオン管職人の技術と、看板という商業美術の文脈において
一時代を築いたネオンサインに対するオマージュである。

通常屋外で見上げることが大半のネオンサインは写真化の
プロセスを経た時点で、屋外広告・案内看板という
本来の意味性は取り除かれ、ネオンサインそのものの工芸的価値と
アノニマスな職人の芸術性が輝き出す。

藤倉 翼

1977 年　北海道北広島市生まれ。札幌市在住。

主な個展

2014 年　「neon-sign」CAI02 Raum2（札幌市）
2010 年　「日常的非日常」ROOM11 artspace（札幌市）
2009 年　「つば写」テンポラリースペース、Pippin（札幌市）
2007 年　「藤倉翼写真展」ほくせんギャラリーアイボリー（札幌市）

受賞

2014 年　東川国際写真フェスティバル
　　赤レンガ公開ポートフォリオオーディション　準グランプリ
2010 年　東京インタラクティブ･アド･アワード　金賞
2005 年　エスクァイアデジタル写真賞 06-07　Art of still life 賞

アートフェア

2015 年　Art Fair Sapporo 2015　LAD Gallery（札幌市）
2015 年　3331 Art Fair 2015　ギャラリー門馬＆ANNEX（東京都）
2015 年　New City Art Fair 2015　ギャラリー門馬＆ANNE（ニューヨーク）
2014 年　fotofever paris 2014　MICHEKO GALERIE（パリ）

tokyoarts gallery
東京都渋谷区東2-23-8
Tel.03-6427-6665　info@tokyoarts.com　www.tokyoartsgallery.com